

## 会 議 議 事 録

1 会議名	平成26年度 第4回長岡市高齢者保健福祉推進会議
2 開催日時	平成27年3月19日(木曜日) 午前10時30分から午前12時頃まで
3 開催場所	アオーレ長岡 東棟4階 大会議室
4 出席者名	<p>(委員) 本田委員長            長谷川剛副委員長                   赤柴委員                磯部委員            今井委員                   加邊委員                鯉江委員            小林和子委員                   小林啓一委員          小林守委員          佐合委員                   関委員                   竹内委員            竹日委員                   南雲委員                長谷川和明委員      藤田委員                   堀委員                   松田委員            山崎委員                   米山委員</p> <p>(事務局) 福祉総務課長ほか関係職員                   介護保険課長ほか関係職員                   長寿はつらつ課長ほか関係職員                   健康課長ほか関係職員                   長岡市社会福祉協議会事務局長</p>
5 欠席者名	小山委員
6 議題	<p>(1) パブリックコメントの結果について</p> <p>(2) 第6期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画(案)について</p> <p>(3) その他</p>
7 審議の内容	
発言者	議 事 内 容
福祉総務課企画係長	<p>皆様、本日は年度末のお忙しいところ、お集まりいただきまして、誠にありがとうございます。今年度の締めくくりとなります第4回長岡市高齢者保健福祉推進会議を開会いたします。</p> <p>会議に先立ちまして、1つご報告がございます。</p>

<p>委員長</p>	<p>新聞報道等でご存じの方もおられると思いますが、高齢者総合ケアセンターこぶし園の総合施設長で、当会議の委員を務めていただいていた小山剛さんが、3月13日にご逝去されました。 ご冥福をお祈り申し上げます。</p> <p>ただ今、お話のあったように、私どもも突然の訃報に接したわけですが、小山剛さんは介護保険制度の始まる2000年、その以前の新ゴールドプランが推進されていたころからずっと、委員をされてこられました。特養をもっと地域の中に、住み慣れた地域の中での介護を受けられるように、とかたちを推し進めていこうというのが、大きい特徴でございました。</p> <p>この介護保険制度、高齢福祉等について、本当に造詣の深い方で、いろいろなご意見をいただいたり、それをまた実践され、まとめてられてきたわけでございます。</p> <p>先ほどお話ししました介護保険制度ができて、15年、いま6期を進めようとしてるわけでございますけれども、私どものこの委員会の一メンバーでもございました。皆さんとともに感謝し、ご冥福をお祈りしたいと思います。ありがとうございました。</p>
<p>福祉総務課企画係長</p>	<p>それでは、これより会議を始めたいと思います。 まず、資料の確認をさせていただきます。 事前にお送りした資料として、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 次第</li> <li>・ 資料 1 パブリックコメントの結果について</li> <li>・ 資料 2 第6期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画(案)</li> </ul> <p>また、本配付いたしました資料として、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 委員名簿</li> <li>・ 本日の配席図</li> </ul> <p>をお配りしております。</p> <p>以上ですが、お手元にはない方はいらっしゃいませんか。 それでは、本日の議題に入りますので、委員長の進行でお願いします。</p>
<p>委員長</p>	<p>それでは、議題に入る前に会議の傍聴について確認したいと思います。本日、傍聴希望者がいらっしゃいますが、委員の皆様、傍聴</p>

<p>福祉総務課長</p>	<p>を許可してもよろしいでしょうか。 承認をいただきましたので、傍聴を許可いたします。</p> <p>それでは、議題に入ります。 今日は「(1)パブリックコメントの結果について」と「(2)第6期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画(案)について」の2つでございますので、よろしくどうぞお願いします。</p> <p>それでは、議題「(1)パブリックコメントの結果について」、事務局の方からよろしくお願いします。</p> <p>皆さんごめんください。 これからパブリックコメントの結果について御説明いたしますので、よろしくお願いいたします。それでは、資料 1 をご覧いただければと思います。</p> <p>(資料 1 に沿って説明)</p>
<p>委員長</p>	<p>ただ今、事務局のほうからパブリックコメントを1月9日から2月9日までの1か月間、いろいろな媒体で市民の皆様にご報告したわけでございます。今回は皆様、中身について「なるほど」となったのでしょうか、意見がなかったということですが、委員の皆様の方からはいかがでしょうか。</p> <p>特によろしいでしょうか。それでは、次の議題で皆様のご意見をうかがいたいと思います。</p> <p>それでは、議題「(2)第6期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画(案)について」、事務局の方から説明をお願いしたいと思います。</p>
<p>福祉総務課長</p>	<p>それでは、第6期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画(案)について、私と介護保険課長からそれぞれ分担してご説明させていただきます。</p> <p>(資料 1 に沿って説明)</p>
<p>介護保険課長</p>	<p>それでは、第4章の説明をさせていただきます。</p>

<p>福祉総務課長</p>	<p>(資料 1 に沿って説明)</p> <p>101 ページをお開きください。</p> <p>(資料 1 に沿って説明)</p>
<p>委員長</p>	<p>はい。ありがとうございます。</p> <p>前もって資料を送っていただきましたし、今までずっと同じような形で見ている計画ですけれども、167 ページにわたる膨大な資料でございます。</p> <p>ただ今の説明に対しまして、皆様からの質問やご意見などはいかがでしょうか。</p>
<p>委員</p>	<p>全体的としては、非常によくできているという印象をもっております。ただ、細かいところで介護と関係なく、報告書として2点ほどございます。</p> <p>1 つは 59 ページで説明いただいたところなのですが、前回の第 5 期計画も同じ表記をしているので、そのときも委員だったので私の責任もあるのかなという気もするのですが、表の中に「平成 24 年から 26 年度伸び率」という表頭があります。ですが、これは正しく言うと、平成 24 年度を 100 としたときの平成 26 年度の指数ですよね。</p> <p>伸び率というと、普通の定義式で言うと、  <math display="block">〔26 年度実績〕 - 〔24 年度実績〕 / 〔24 年度実績〕 \times 100</math> ですから、 2.7% くらいにならないといけないので、この書き方が一般的で通っているというのならいいのですが、数学とか統計をやる人から見ると、違和感があるかなという気がしています。</p> <p>これは直してほしいというわけではなく、検討していただきたい、というのが1点。</p> <p>それから 146 ページのアンケート調査のところですが、グラフの中に、「無回答 A 票 : 36 、 B 票 : 43 、 C 票 : 40」とあるのですが、どれが A 票でどれが B 票でどれが C 票であるかが、前の方に書いていないんですね。なので、ここはきちんと入れておいていただきたいと思います。</p> <p>私の方からは、以上の2点です。</p>

委員長	事務局からは、何かありますか。
福祉総務課長	<p>2つ併せてご回答させていただきますが、委員のおっしゃるとおりでございます。1点目の部分については検討させていただきますし、2点目の部分については、これだけでは分かりませんので、どれがどの票であるかを入れさせていただきますと思います。</p>
委員長	<p>そのほか、いかがでしょうか。</p> <p>先ほど、認定率が上がっていく傾向にもあるのではないかと、というようなことがございましたけれども、それは数字的に押さえていたんですけれども、今後、介護予防も前期くらいから進めておりますし、より進めていこうということがこの中でも表されております。ただ、介護予防事業だけではなく、そのほかの社会参加、あるいは健康づくりのところも、全体的にも見て介護予防にもつながるのではなかろうかなというふうに感じております。認定率もこうなっているわけですが、より介護予防も幅広くとらえていく必要があるのではないかなと思いつつながら、読ませていただきました。</p>
委員	<p>基本的には、毎回同じような感じをもつのですが、いろいろな要望に対して全部答えようとするために、濃淡がなかなか付きにくくて、どれもこれも少しずつやるという、これは宿命だから仕方がないんだけど、その時代その時代に合わせて要求が違ってくると、支えきれない時代がすぐ来るってことを考えると、どこに重点を置くか。これは長岡市だけでは決められないことなので、国と歩調を合わせてどこかに重点を置くという方向にいかないと、パンクする危険性があるので、今後はどこに重点を置くかということをやっていく必要があるのかなという印象です。</p>
委員長	ありがとうございます。
委員	<p>単純な、素朴な疑問で申し訳ないんですけども、地図は分かりやすくいいですね。これを拝見しますと、真っ赤なところは認定者の数が多いということですが、まちなかに集中しているんですね。単純にどうしてそうなるのかな、と思ったんですけども。</p>

<p>福祉総務課長</p>	<p>まちなかが高齢者の数が多い、イコール高齢化率が高いのか。郊外は川西、山古志あたり非常に高いと聞いていますが、こういった背景があるのかなと感じました。</p> <p>一般論としては、若手は郊外に家を造ってというのがありますが、まちなかは人口密度も高いですし、ご高齢の方も一定の割合でいらっしゃるといふことの証左だと思います。</p>
<p>委員長</p>	<p>10年前の話になりますけれども、震災がございまして、そのとき山古志の皆さんが仮設住宅に入られて、震災前の認定率は非常に低かったんですけれども、反対に仮設住宅に入られて、そのとき「生活活発」というような言葉を先生がお話しされて、いわゆる反対に言えば「生活不活発」で簡単に戻らないから、認定率が上がってしまったということを知ったことがあるわけなんですけれども。</p> <p>そのほか、皆様いかがでしょうか。</p>
<p>委員</p>	<p>すみません、今のはちょっと誤解があると思うんですけど、4ページに高齢人口と高齢化率とあって、149ページのマップを見ると人口がゼロのところは白く出るんですよ。高齢者人口の多さがここに表れているだけで、このことが高齢化率が高い地域だということには必ずしもならないと思うんです。だから、もし高齢化率を議論するのであれば、高齢化率のマップをつくるべきだと思うんですけども、そこは誤解をしない方がいいのではないかと思います。</p> <p>福祉総務課長の説明はそういう説明だったと思うんですが、明確に言っていなかったので、補足しました。</p>
<p>委員</p>	<p>委員のご指摘のとおりではないかなと感じています。この地図は500m四方に何人いるかというものでありますから、小国、川口、山古志、寺泊あたりを見ますと、500m四方に住んでいる人がきわめて少ないから、認定者数が100人を超えるというところはほとんどいないということで、その辺からうまくカバーできるようにしていただいた方がもっと分かりやすくなる、そんな気がしております。</p>
<p>委員</p>	<p>今の件なんですけれども、実際の介護を受けられる、または介護が必要な方という点で見ると、数の方が比率より大事だと思うんで</p>

	<p>すね。その地域にどれだけマンパワーが必要だとか、介護力が必要かとか。そうするとこの方が、分かりやすいんじゃないかと。</p> <p>介護率というのは、率にすると、1人住んでいてその人が介護が必要だとすると100%になってしまう。この方がいいんじゃないかなって感じます。</p>
委員長	<p>地図のところにある程度、添え書きというか、コメントや見方が書かれていればいいのかなと思いますけれども。</p>
委員長	<p>先ほどの説明で口腔機能の話がありましたが、私も最近いろいろところで、口腔機能が健康づくりに大切なんだということを介護サービスの中でも行われておりますけれども、御意見をいただけますか。</p>
委員	<p>口腔機能の健康について触れていただいたことは、非常に重要ですし、ありがたいと思っております。特に近年、マスコミ等からも取り上げられていますけれども、QOL、生活の質の向上とか、認知症予防、心筋梗塞、糖尿病の予防などが、口腔ケアから入っていくと、非常に向上が見込まれることも明確になってきています。そういった意味では介護とか高齢者とかいろいろなもの考えるときに、口腔ケアを併せて、場合によっては口腔ケアを重要視していきながら、意識していきながら計画に盛り込んでいくというのは非常に大切だと思いますので、今回盛り込んでいただいて、非常に良いことだと思います。</p>
委員長	<p>ありがとうございます。</p>
委員	<p>私も地図の方で、まちなかの方は高齢化率がずいぶん高くなっているんだなって思いましたが、先ほどの説明でよく分かりました。ありがとうございました。</p>
委員	<p>私たちの会は会員が30名近くなるんですけども、本当に高齢化してきているんです。70歳、80歳で後期高齢者の会員に多くて、亡くなった方も何人かいらっしやいます。そのような中で、介護保険はあのように、これはこのようにやるといろいろ載っているんですけども、じゃあ私たちが具体的に利用者としてどのように使っ</p>

<p>長寿はつらつ課長</p>	<p>ていったらいいのか。やはり身近なものになっていっていないんですよ。まだ必要ないとか、どうやったら使えるかとか、みんな話しているんです。それで、今度新たに第6期の計画が策定されて、みんなで一からまた勉強し直そうということを言っています。</p> <p>それから、今回またいろいろなデータが出ているんですけども、じゃあ具体的にはどうなのかということをみんなでまた学んでいきたいと思っています。</p> <p>あと、また認知症ケアパスの策定ということで、58ページに出ていますけれども、認知症サポーターのようなものになるのか、どんな形になっていくのかを期待していますので、よろしく願いいたします。</p> <p>58ページの認知症ケアパスの策定、認知症についてはテレビなどでも非常に大きく取り上げられているように、誰でもなる可能性はあるので、予防に力を入れていきたいと思っています。ケアパスはどちらかというと、認知症になった方を今後どのような段階で、どのようなケアがあるかというような部分を整理していくという形になるかと思います。これについても新オレンジプランの中でも義務付けられておりますし、長岡市の方でもそれを見据えながら今の資源をいろいろと整理しまして、ケアパスの方につなげていきたいと考えております。</p> <p>そのほかにも、27年度から認知症初期集中支援チームを立ち上げまして、認知症の方がなるべく初期の段階から、いろいろな医療、福祉のサービスに早いうちにつなげていける部分の取組。それから認知症カフェ、認知症の方、それから介護している家族の人が気軽に行って相談できたり、コミュニケーションがとれたりというような場を作っていきたいと思っています。</p>
<p>委員</p>	<p>先ほどの補足というか、要望なんですけど、118ページのところに口腔機能の現状と今後の方向の中に組み入れていただいたと思うんですけど、正確に私たちの見解を申し上げますと、ここに書いてある現状と課題の上から6行目のところですが、「歯周疾患健診は歯の喪失予防等を目的に実施しています」と。これを読むと歯がなくならないように歯周疾患健診をしましょうというふうな形がメインになって書いてあると思います。先ほど私がコメントさせていただいたように、今どちらかというとメインの目的は、もちろん歯の</p>



	<p>喪失予防もありますけれども、もう一つは健康の質の向上ということもありますので、その文言は、特に最近はだいたいそれを併せて書いてありますので、歯がなくならないように歯周病健診をするんだというか、健康増進のために、歯がなくなっても糖尿病とか心筋梗塞の原因となりますので、そういう意味ではそこを併せて書いていただいた方がよろしいかと思います。</p> <p>あとは今後の方向のところも同じで、今後の方向の一番最後のところに、「また新たに後期高齢者に口腔機能健診を行い、低栄養や誤嚥性肺炎等の予防」というのはそのとおりなんですけれども、高い健康の質の維持、増進を図りますとか、そんなふうな書き方が、現状に則しているのではないのでしょうか。</p> <p>貴重なご指摘ありがとうございました。しっかり検討させていただきます。</p> <p>ありがとうございます。それから先ほどの相談というか、頭の中では分かっているけれども、現実的に利用しようすると、という点ですね。こういう場合はどこに相談するといいいんでしょうか。</p> <p>高齢者のことにつきましては、まずは地域にあります地域包括支援センターでご相談いただきたいと思います。そこを通じていろいろな関係機関と連携して対応させていただきたいと思います。</p> <p>私どもとしては、地域包括支援センターが地域の窓口という形の中で、いろいろなご相談をしていただきたいと思います。</p> <p>私たちのグループの中でも、とにかく第一歩は地域包括支援センターだよという話はよくするんですけども、地域包括支援センターに直接電話を入れても、なかなかワンストップでいかないというか、そういう部分がありますので、運営についてより幅広く、なかなか人員が少ないんでしょうかね。担当がいらない、担当はこの人だから、というのが現実あるんです。そういうことで、もっと地域包括支援センターは人数を多くして、地域の中に密着した動きができるような形にもって行っていただくとありがたいと思います。正直、地域包括支援センターについては利用してそう思っていました。</p>
健康課長	
委員長	
長寿はつらつ課長	
委員	

長寿はつらつ課	<p>地域包括支援センターには今 47 人程度おりまして、配置基準もつくりましたので、確かにいろんな意味で、地域包括支援センターの人員はあちこち出て、直接地域の方のところを回っておりますので、センターでじっとしているわけではありませんので、電話したときに担当がいなかったということがあると思います。市としましては、そのほかにも出前講座とかいろんな意味で私どもの介護予防の教室の紹介とか、いろんなこともできますので、要望があれば声をかけてください。</p>
委員長	<p>現在、市内 11 か所に地域包括支援センターがありますけれども、昼は 12 時半頃帰ってきたり、またすぐに出かけたり、また電話がかかってきてすぐに出向いたりしております。</p> <p>また最近、連携という言葉もございますし、福祉に関する地域委員、民生委員もあります。まずそこで困ったことや実はこうなんだということを伝えれば、どこに連絡するのが一番いいかということが出てくるでしょうし、地域の中に福祉施設等があったりするんで、そこで解決できるのか、また今日も各団体からお見えでございますし、皆さんの中にも意識して連携をとっていくのも一つかと。</p>
委員	<p>そうですね。忙しいでしょうけど、地域で民生委員とか、個人情報保護法などいろいろな問題があって、個人の名前が出せないとか、そういう問題が今、実際あるんですよ。その辺り、民生委員と地域包括が連携をとって進めていけると、より良いのかなと。とにかく、いつもどこかでストップしてしまうんじゃないかと、いろいろあるので仕方ないと思うんですけども。</p>
委員長	<p>そこで、「その件はこっちにもっていくといいですよ」というような形でお話が出るのかもしれないですね。中島の地域包括支援センターでは、民生委員さんも一緒になって来られたりして、民生委員さんがつなぐような感じになっていきますけれども、皆さんが同じように意識してやって、福祉に関係するお話があったとき、そこに結びつけるような形というのが良いのではないのでしょうか。</p>
委員	<p>今、認知症の方を含む高齢者の件なんですけれども、特にこの 56 ページに見守りのネットワークというものがありますね。今、</p>

皆様方が言うておられますが、地域包括支援センターとかそういった関係の団体を含めて総合的にやっていこうというお話、これはもっともだなということを感じております。

今、私が皆様方にお話ししたいと思っておりますのは、私の所属する町内では、町内会が主体となって、地域に住んでいる高齢者の見守り活動を行っているということがあるんです。どういうことかと言いますと、町内会で毎月1回または2回くらいお茶飲みサークルというものをつくりまして、そこに町内の高齢者の方に来てもらって、それに合わせて民生委員の方も地域包括支援センターの方も、それから大島のサポートセンター、千秋のサポートセンターの方が、いろいろテーマに応じて集まってもらって、そこで高齢者に必要なことを高齢者とともに学んでいく、あるいは運動する。そうすることによって、たとえば認知症のサポーター研修などは何回もやっておりますし、あるいは救急医療の問題だとか、それから介護保険は非常に分かりにくいので、介護保険の基礎的な知識ということで、講義をやっています。

高齢者の場合は、人との交わりと適度な運動というのが予防にとっては非常に大事だと思いますし、特に町内会という単位ですと、お互いに隣近所、知り合いの方ですとか、いろいろ集まってきて、しかも公民館という非常に近いところに皆さんが集まってきて、そこにいろいろな専門家の方たちがテーマに応じて集まってもらえる。当然そこに町内会の役員の方とか、お茶飲みサロンを支えていく運営委員の方とかが集まるので、そういった人たちが集まってほしい30人くらいが毎回活動を行っていく。そういった町内会というものを活用しながら、町内会といってもピンからキリまでありますが、そういうようなことができる町内会もあればできない町内会もあるかもしれませんが、少なくとも長岡市の中において一番末端の行政機関とは言いませんが、末端で地域の方と関わりがある機関としては、町内会は非常に便利な所だと思うんですね。そういった町内会などを活用しながら、もっともっと高齢者に集まってもらって、そこに必要な知識だとか、あるいは適度な運動だとか、それから交わりですね、そういったものを普及していく。そういったものも見守りのネットワークとして、これから大事ではないだろうか。特に、長岡市の場合は町内会はたくさんありますので、そういう最小の単位の人たちが各々自分たちのできることを、他人の協力を借りながら活動していったら、そして地域の高齢者たちの見守りを

<p>長寿はつらつ課長</p>	<p>築いていくということを具体的なこととして推進できるよう提案したいと思っております。</p> <p>今、委員からお話しいただいたことについては、私どももそう願っております。今回 27 年度からはつらつ広場ということで市内 30 か所で、今言われたようなお茶飲みをしながらいろいろな活動ができる場をつくっていきたいと思って、そこに運営の資金を出しながら、より活発にやっていただきたいということで、私どもは始めたいと思っております。</p> <p>実際には、社協さんが進めたサロンもありますし、いろいろな活動が進められていますけれども、高齢者がいつでも行ける場というような部分を広めていながら、介護予防である程度良くなった方もまだそちらに参加できるという場を目指していきたいと思っております。</p>
<p>委員</p>	<p>それは多少、補助金のようなものも出るんですか。</p>
<p>委員長</p>	<p>今回、市内 30 か所で行う部分については、実際に活発にされている団体を高齢者センターと支所に推薦していただいて、今年度は始めていきたいと思います。</p> <p>来年度以降は、それを増やししながら、早いうちに地域でできる場をより多くつくっていきたいと思っております。</p>
<p>福祉保健部長</p>	<p>今、委員からご提案があったことは、私どもも非常に大事なことと思っております。来年度 30 か所というのは、モデル的にやってみようということで 30 か所なんです。できれば、私どもは 100 か所でも 200 か所でも、町内会は旧長岡市内だけでも 600 はございますので、できれば 600 か所とか 1,000 か所とか、高齢者の方が歩いて通える範囲の公民館とかあるいは空き家とかもあるかもしれません。送迎がついて、しつらえられた場所に行っていくというのは、その先のサービスが必要な方については、そのようにやっていますが、そうではなくて、まだ自宅で、でもお一人だとか、不安だとか、あるいはもう少し運動すれば回復するんじゃないかというような方々を、元気な地域の方が世話役になっていただいて、ちょっと気になる高齢者の方に声かけしていただいて、できれば月 1 回と言わず週 1 回で、運動の効果もありますので、何度かお茶飲みをしても</p>

委員	<p>らったり、その中で毎週できれば変わった情報が得られる。単にお茶飲みだけですと、俺はもういいや、という話になりかねないので、その辺りが工夫のしどころですので、そういう意味ではそれを担っていただく方には、市としては薄謝ではございますが、社会的に大事な仕事なんですということで、認めさせていただいて、ですので張り合いがあるというくらいの謝礼とお茶代と茶菓子代で、地域ごとに運営をしていただいてと思っております。</p> <p>見守りは二重でも三重でも、いろいろなネットワークで多層的であればあるほど、安心感が高まりますので、民生委員さんもいらっしゃるし、地域包括支援センターもあります。ただしそういった職務でやっていらっしゃる方以外にも、地域の中でただのボランティアではなく、公的といいますか、町内での役割という感があった方が、より張り合いがあるといいますか、そういうところの課題も含めて、地域に浸透していくと、それはすごくいいなと思っております。</p> <p>委員は、すでに実践されているということですので、ぜひまた地元の活動を詳しく聞かせていただいて、モデルとして参考にさせていただきたいと思っておりますので、併せてよろしくお願ひしたいと思っております。</p> <p>私、川口在住なんですけど、昨日も行ってきたんですけど、私たちはそういう気持ちで始めたんじゃないんですけども、地域包括支援センターさんが来まして、来年度から始まるので申請しませんかという話があって、申請しました。</p> <p>地域包括支援センターさんが、私たち毎週水曜日にラジオ体操とちょっとした体操をするんです。それだけではメニューがないので、いろいろなことを考えてみんなで自主的にやっているんですけども、そこに来る人が水曜日に来て、もう一つが火曜日なので、週2回あるそれが、ひとり暮らしの人たちはすごく楽しみで、長い時間じゃない、縛られるんじゃない、実は使っている所はお金もないんですよ。それで、市役所の方から補助が出るって言われたんですけど、補助が出ると計画書とかいろいろあるんですよ。実はそういうことが動くと、役員さんになる人はいろんなことがあるので、本当はそんなことをしなくても見守ってくれるような行政であってもいいんじゃないかというような気もしました。昔はそんな行政じゃなくて、保育所へ行った後に石垣に腰を下ろしてみんなでし</p>
----	--

<p>社会福祉協議会事務局 局長</p>	<p>やべっている、それがすごく年寄りには楽しかったのに、今はそういう場所すら。仲間もみんなちょっと悪ければ、若い人は介護度が何度になればどうか、介護度が上がっていけば悪影響、親を収めさせられるとか、そんなところへ行かなくても、結構まだそういう人が地域の場所において、帰ってくる子どもたちに声をかけたり、そういう場所がなくなりつつある、仲間がいなくなりつつあるということで私たちは始めました。</p> <p>さっきおっしゃったんですけれども、地域包括支援センターの人がラジオ体操のビデオを持ってきてくれて、「はい、ここまで私たちですよ、あとは自由にしてください」とラジオ体操の指導をしてくれたり。それはやっぱり遠くから来てくれる人じゃなくて、その場所に歩ける程度の近所がいいって委員がおっしゃいましたよね。あっちの方からバスに乗ってくるとかそういうのじゃなくて、この前私たちが最後に言った言葉は、ここの同級生があおりの里へ行って、「あの時は、一緒だったね」と言って同窓会みたいにして、すぐにコロリ。それぐらいの気持ちで今を楽しく生きる人たちの場所、そういう支援、介護のお世話にならない人の動きが、これからは大切になってくるんじゃないかと、この話を聞きながら、本当は今、世話になっている人たちのやりくりも大切ですが、そうじゃない人たちをどういうふうに気持ち良く地域に生きていらっしゃるといふか、活動していらっしゃるといふか、そんなおおげさなことを行政はしてくれなくていいんです。ちゃんとその利用する人たちが地域包括支援センターに頼みに行く、民生委員じゃなくても、切り絵をしてくれる人にちょっとボランティアで来てくれと言えほしい来ます。お金をもらわなくてもそういう感じで動かれる、程度の高くない福祉というものの大事じゃないかと私は思っております。</p> <p>先ほど委員から町内会で見守り活動をやったらどうかというお話は、まったく大事なことだと思います。なぜかという、認知症の方とかあの人は様子がおかしいとか、ちょっと見守りが必要だとか、隣近所が一番よく分かるんですよね。地元の町内が一番よく分かるんです。それから、町内会長のところに一番情報が集まると思うんですよ。民生委員さんもそうなんですが、担当が非常に広いので、なかなか大変だと思うんです。町内会と民生委員さんが協力していただいて、ということで、今、社会福祉協議会が進めているの</p>
--------------------------	--

	<p>は、地域の中で地区ごとに小地域見守りネットワークということで、見守りが必要な方を元気な方が見守っていただく、1人の人に対して3人、4人で見守っていく見守りを行うということで、やっていただいております。</p> <p>市が各地区ごとにコミュニティセンターをつくって、地域の活動拠点ですよということでそれを使って、集まる場所をつくっていくわけですので、そういうところを活用して関係者が集まって、地域の情報をお互い共有し、そこからその方に対して何が必要かということをしかりと考えていただいて、もちろん行政も社会福祉協議会も関係機関も全部協力をしていくわけですので、関係のところにつないでいただいて、一緒に考える機会をつくっていただければと思っています。</p> <p>地域包括支援センターでは地域ケア会議ということで、関係者が全部集まっていたらいい、そういう一人ひとりの方にどうしたらいいかということで検討を続けていただいております。</p> <p>個人情報の問題があるので、なかなか人のことが言えない、隣のことも立ち入れないというようなことがあるんですが、もう人のことだと言っていられないんですよ。なぜならば今、全国で火災がものすごく起きています。認知症の方であれば火を付けたけど消し忘れとか、高齢者世帯、高齢者と障害者の世帯とか、そういう世帯で非常に火災が発生しています。ですので、火が出れば隣近所や自分の家ももらい火するかもしれないわけですよ。関係ないと言っていられないことを、これから高齢化が進めば進むほどそういうことになりますので、町内会は任意の団体なので、こちらから何かをしてくださいということとは言えないんですけども、お話しをして協力いただいて、進めていければいいのかなと思っています。</p> <p>ただ、町内会によっては、「これは町内会の仕事ではありません」というところもあったりして、時間をかけてお願いしていただければならないと思っています。</p>
委員長	はい、どうぞ。
委員	<p>今、社会福祉協議会の事務局長さんがお話しされましたけれども、私は社会福祉協議会がこれからの地域福祉の要だと思うんです。皆さんご存知ですか、社会福祉協議会の在宅三本柱って。ボランティア銀行、小地域ネットワーク、食事サービス。それぞれ各地</p>

	<p>で月に何回か食事サービスは社会福祉協議会がやっているんです。</p> <p>そういうように、地域の中に入って、行政は茶の間のようなものがあるかもしれませんが、社会福祉協議会は何十年も前からそういうことをやっているんです。だから、ぜひ地域福祉の要として、地域のためにどんどん入ってきていただいて、私たちと一緒に手を携えてやっていけたら、本当に地域福祉が広がっていくのではないかと考えております。</p>
<p>委員長</p>	<p>はい。ありがとうございます。私も社会福祉協議会の者ですが、先ほどのお話を聞いていて、地域の中でのふれあい食事サービスもあるし、いろいろあるんですけども、地域の茶の間が市内全部で、小国、栃尾、川口を含めて茶の間というのが 240、250 ほどあるんです。そのように活動していて、PR というか勧誘の仕方というかが悪かったかなというふうにも考えておりますし、今の各委員のお話を全部つなげて地域の中でできる居場所づくり、そしてそこから地域の中で、健康のこともありますし、介護保険のことをもう少し知りたいとか、病気のこともあるかもしれませんが、先ほどの口腔ケアが大切なんですよというような部分もあったりしますので、いろいろなところがやっているものがあるのをお互いに再認識しながら、それが一つの横串でいけるかく計画になっている部分がございますので、そこからより充実させていったらいいのではなかろうかと考えております。</p>
<p>委員</p>	<p>地図のところでお聞きしたいことがあって、認定者数の分布があって、三角印が介護サービス基盤ということで事業所の位置が載っていますが、この基盤の過不足というか、全体的な特徴があれば、お聞きしたいなと思います。エリアによっては不足しているところがあるとか、全体的な傾向と伺いますか。</p>
<p>福祉総務課長</p>	<p>先ほどの話でもありましたが、やはり中央部が認定者の方が多く、なかなか立地場所が少ないという関係からすると、施設数が少なめかなということが見えるというふうには言えます。ほかにも細かく言えばいろいろなことが挙げられると思いますが、大きくはそのようなことが言えるかなと思います。</p>
<p>委員</p>	<p>これだけ色的にはかなり緑の所が広がっている状況がある中で、</p>



<p>福祉保健部長</p>	<p>ここがやはり困った状況というかそういう意味合いの所があれば聞かせてください。</p> <p>これはサービスのあり方を検討する一つのデータとしても見ておりまして、人口密度が低い所では当然サービスの距離が薄くなるわけですね。そうすると事業所の形態もどうあったらいいかと。まちなかの住宅が近接するところで効率的にサービスが提供できる所と、そうではない中山間地などにおいては住宅が偏在している所でもそこには利用者がいらっしゃるわけですので、そういった所でサービスを提供する形態はどういった形がいいのかを、やはり地域的に違うというのを、ある意味当然の話なのですが、それは長岡地域全体で見る一つ見方として見ております。それと併せて、各生活圏域で現有のサービスと第6期の3か年で整備される介護サービス基盤をマップの中で見てバランスを見ながら、どこかの地域に偏るようなことがないようにというためのデータとしても活用したものですので、事業者の方も活用できるものだと思いますので、参考資料として載せております。</p>
<p>委員</p>	<p>ありがとうございます。それから、先ほど地域包括支援センターの話がありましたが、地域包括支援センターという名前が市民の皆さんは分からない。そのネーミング自体が、何だろうというようなところがあるのかなと、いつも思っていて、以前は在宅介護センターということで「介護」という言葉が入っていましたが、制度上そういう名前なんでしょうけれども、もっと市民の皆さんになじむようなネーミングがあると良いのになと思いました。</p>
<p>長寿はつらつ課長</p>	<p>検討させていただきたいと思います。</p>
<p>委員長</p>	<p>厚生労働省がこういう名前を付けられたんですね。</p>
<p>長寿はつらつ課長</p>	<p>法律の中にそのように書かれておりますが、各地ではいろいろな名称で呼んでいる所もありますので、いい案があれば教えていただければと思います。</p>
<p>委員</p>	<p>私は今、町内会長も兼務しているんですけども、ひとり暮らしの家庭と介護を必要としている高齢者の世帯に、役員から1人ずつ</p>

<p>長寿はつらつ課長</p>	<p>配置をして朝晩のあいさつとか見守りとかそういう役割をしてもらっているんですが、なかなか機能しているという状態ではないんですけども、やっています。担当を決めなければいけない人の中で一番困っているのが、奥さんが倒れて旦那さんが介護している家庭があるのですが、これが結構長い年月が経ちまして、精神的にも肉体的にも、おそらく金銭的にも困っているんでしょうけれども、私ども担当を決めているんですけども、結局本人に言えるのは、「何か困ったことがあれば相談してくださいよ」「何か手助け必要ですか」という程度なんですけれども、計画の中には在宅介護手当というのが出てきますよね。今までも若干は出ていると思うんですけども、これは今までのものより、グレードアップしたものになる予定なんですか。</p> <p>それからもう一点、高齢者だけが集まるのもやっています。残念ながら女性だけなんですけれども、月に一回地域の集会所に集まって、わいわいやっています。何人かが、もっといろいろな話を聞くものにした方がいいんじゃないのという話をするんですけども、今のままの気楽なものがいいと進んでいないんですけども、それは先ほどお話がありましたように、気持ちよく集まってもらえる場所の方がいいのかなと思ってそのままにしておきますけれども、できればこれからいろいろな話を聞くようなものに引き上げていきたいと思っております。そんなことをやっているところです。</p> <p>委員がおっしゃられた介護者への支援ですけども、私どもは介護者への支援金をまず介護をされている方にお渡ししております。そのほかに介護者の方が非常に苦勞されるという部分もありますので、いろいろな形で支援をしたいというなかで、介護者への研修会という形でお誘いをして、より介護を楽にやれるような方法とか、あるいは介護者の方が気晴らしになるようなことも含めて、市内いろいろな箇所で年間 24 回くらい開催しております、1 回あたり 15 人くらいの方に出てきてもらっていただくような形で行っています。いろいろな地域でやりますので、いろいろな内容でやりますので、状況に応じたところにぜひ行っていただいて、支援金だけだと気晴らしもできませんので、そういう機会を使っていただいて、いろいろな研修を受けたり、気晴らしをされたりということをお願いしたいと思います。</p>
-----------------	--

委員長	<p>ありがとうございます。まだまだ皆さんの意見もあろうかと思いますが、予定の時間となりましたので、この第6期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画（案）ということで、先ほど要望や意見、それから検討をするということもあったかと思いますが、それを踏まえて事務局はよろしく願います。</p> <p>では、議題（2）は終えたいと思いますが、議題「（3）その他」は、事務局の方からありますか。</p>
福祉総務課長	<p>ありません。</p>
委員長	<p>それでは、計画（案）につきましては、委員長責任で事務局と最終調整をして計画書としてまとめあげていきたいと思いますが、それでよろしいでしょうか。</p> <p>皆様からいただいたご意見を入れながら、まとめていきたいと思っています。ありがとうございました。</p> <p>では、進行を事務局へお返しします。</p>
福祉総務課企画係長	<p>ありがとうございました。</p> <p>それでは、閉会にあたりまして、福祉保健部長よりご挨拶申し上げます。</p>
福祉保健部長	<p>改めまして、本日はどうもありがとうございました。</p> <p>この一年間、4回にわたりまして、皆様お忙しいなかお出でいただきまして、今日最終日もいろいろなご意見をいただいて、また前向きな話題も出ましたので、ぜひ私ども市としましてもこの計画に基づいて、介護サービスをきちんと充実させるとともに、地域で福祉を支えると、地域を支えるということ、さらに私ども市としてもその視点をこの度の計画の中でも織り込んだつもりでありますので、ぜひとも各地域でいろいろな自発的な活動が出ますように、よろしく願いしたいと思います。</p> <p>この10年くらいで高齢者の絶対数が増えてくる、長岡市においてもそういう状況でございますが、また元気な高齢者も同様に増えてくるというように考えますと、社会を支えていく高齢者の大きな力ということもありますので、多世代にわたりまして健康づくりをやったり、そういうことによって街全体が高齢化をしてもそこから活力が生み出される。そんなふうなイメージをもてればなと思</p>

<p>福祉総務課企画係長</p>	<p>っております。</p> <p>ぜひまた、今後とも各お立場で私どもの政策にご協力いただく部分があるかと思しますので、引き続きよろしく願いしたいと思ひます。</p> <p>ありがとうございました。今後ともよろしく願ひいたします。</p> <p>計画書につきましては、今ほども委員長からお話いただきましたが、最終調整と「てにをは」の修正等を行ひまして、冊子の形に製本して皆様のところへお届けしたいと思っております。4月中にはお届けできるかと思っておりますので、よろしく願ひいたします。</p> <p>また、本日の会議の議事録につきましてもご送付させていただくとともに、お名前を伏せた形で長岡市のホームページにも掲載させていただきたいと思っておりますので、よろしく願ひいたします。</p> <p>それでは、皆様ありがとうございました。これで閉会とさせていただきます。</p>
<p>8 会議資料</p>	<p>別添のとおり</p>